

大衆文化の発展（少女雑誌の創刊）



* 斉藤家文書73「雑誌挿絵切抜集」

解説

明治時代後期，女子の進学率があがってくると，高等女学校の生徒を読者に想定した『少女界』『少女世界』『少女の友』『少女画報』などの少女雑誌があいついで創刊されました。流行作家による文章，絵画，ファッションなどの新しい情報を届けたこれらの雑誌は少女たちに大きな影響を与えました。投書欄を通じた読者会も全国各地でさかに行われました。

左の写真は，明治時代の終わり頃の「少女の友」の口絵部分を切り取り，綴じたものです。竹久夢二，渡辺与平，川端龍子らの作品が収められ，手製の表紙が付けられています。

当時，雑誌の口絵は良質な紙に美しく印刷され，加えて竹久夢二などの流行画家が描いていたため，口絵のコレクションが少女たちの間で流行っていました。



* 上の写真はキンノツノ社「少女界」1923（大正12）年3月号です。吉屋信子や山田耕筰などが文章を書いています。この雑誌も口絵が切り取られています（堀江静子家文書581）

* 渡辺与平については5-1-7 「大衆文化の発展（ヨヘイ画集）」を参照。